

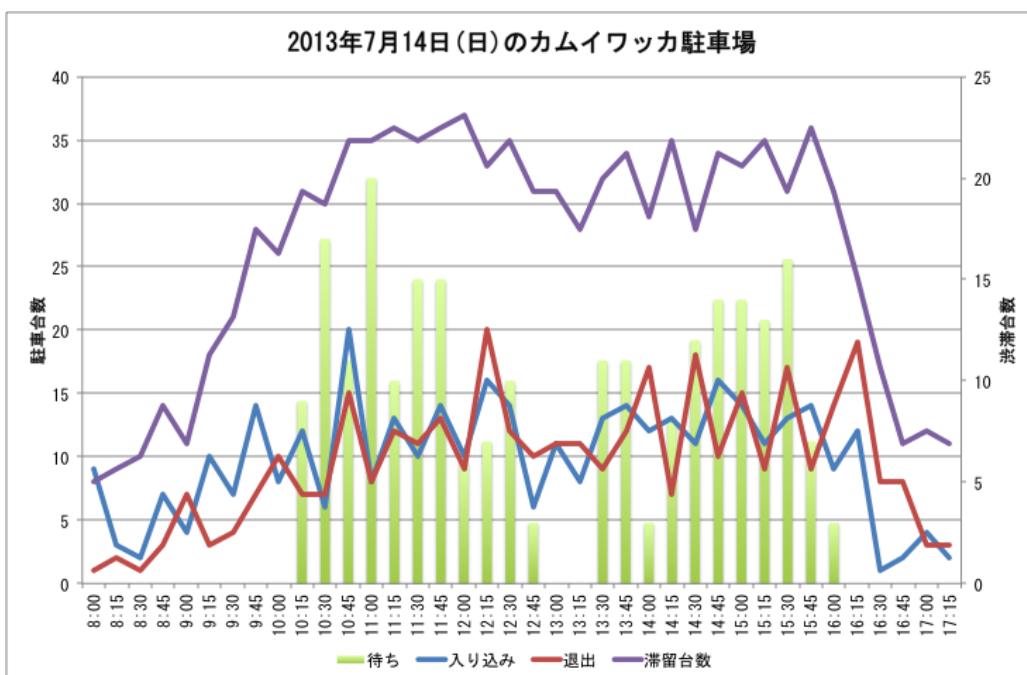
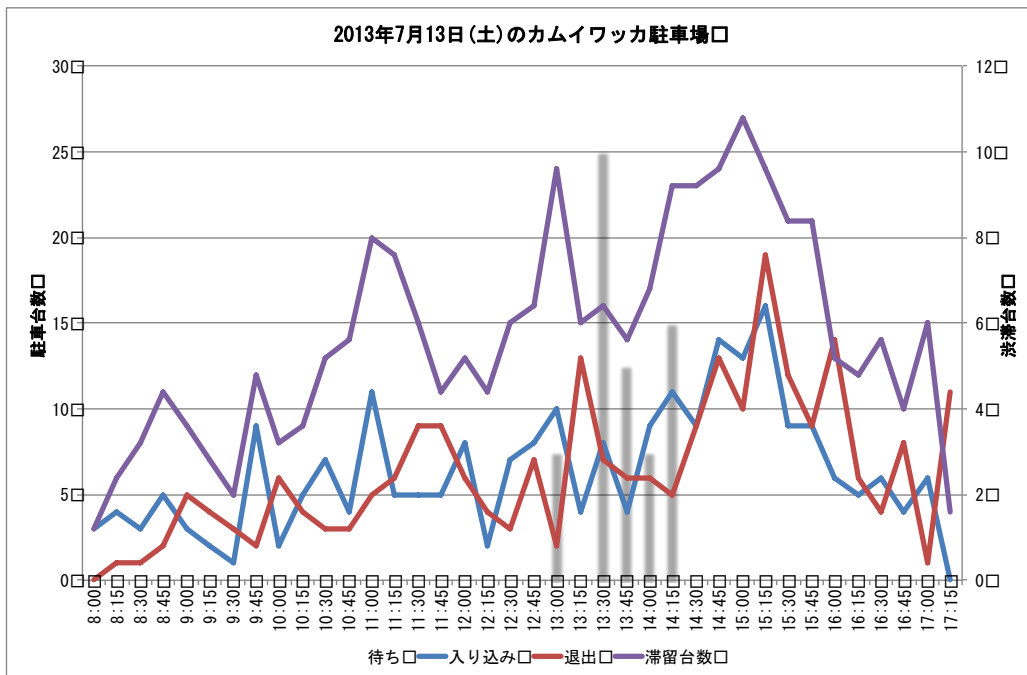
2013年 海の日の連休における利用状況調査等報告

北海道大学 愛甲哲也・庄子康

駐車場の利用台数

7月13日(土)と14日(日)午前8時から午後5時半まで、駐車場の入退出台数および湯の滝の利用人数を調査した。両日とも晴天であった。(7月29日 適正利用・エコツーリズム検討会議で速報報告)

乗用車は13日242台、14日373台が訪れた。15分毎の駐車台数は、最大で13日27台、14日37台。13日は13時半から1時間ほど駐車場入り口で渋滞が発生、27台は数分待って駐車した。14日は10時15分から13時半からのそれぞれ2時間半ずつ渋滞が発生、235台が並び、最大で20台、200mほどの長さになった。平均で10分、最長で27分の待ち時間が発生した。滞在時間は、平均で31分、最長で1時間58分であった。



140203 カムイワッカ部会（第4回）

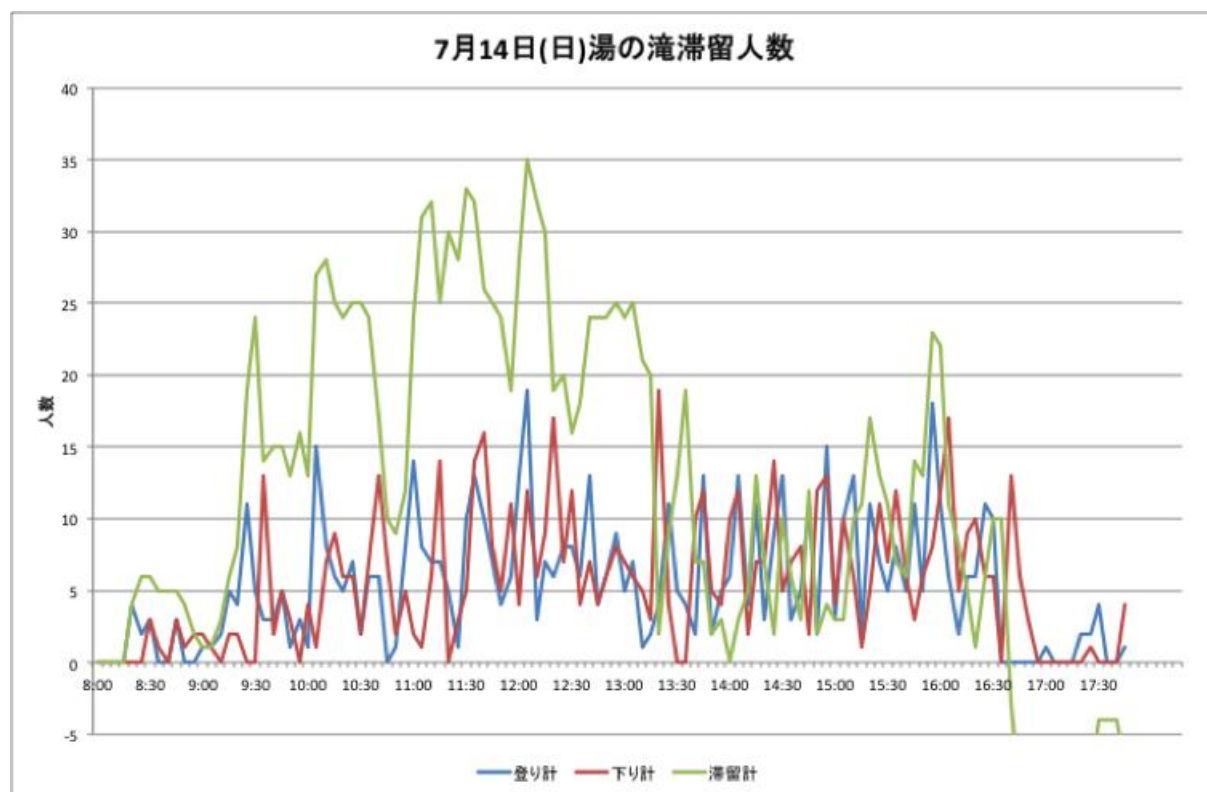
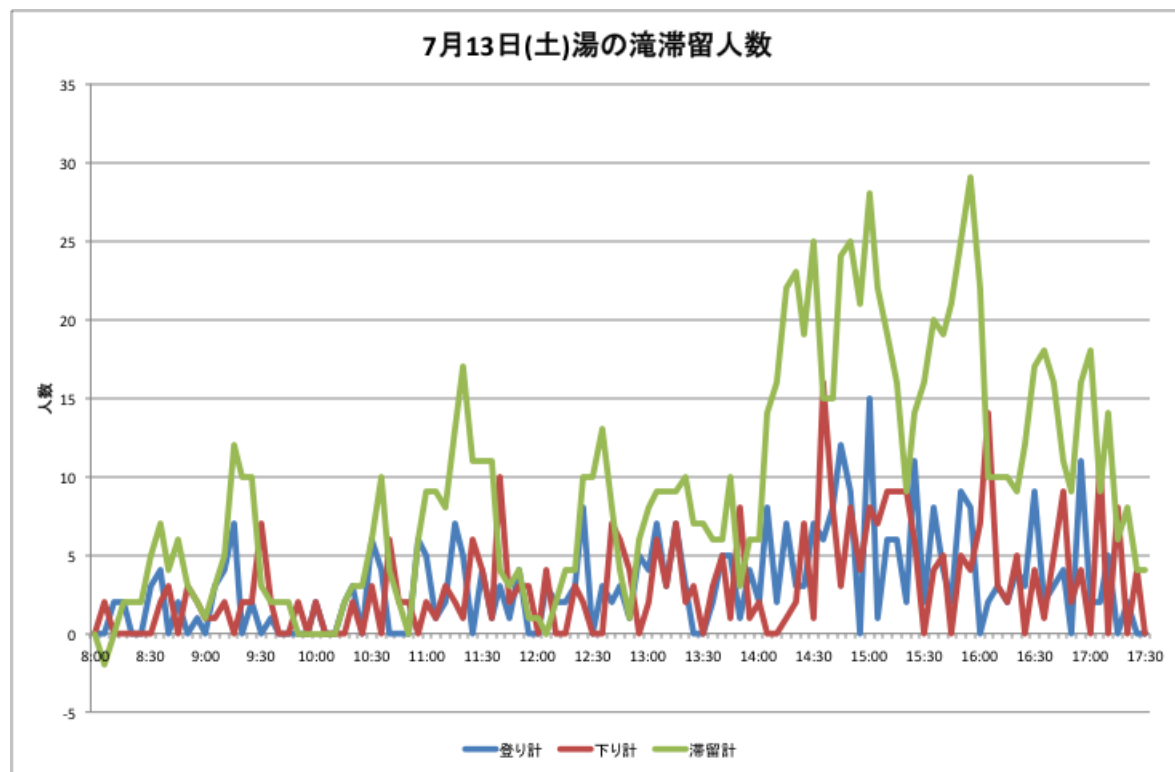
表：カムイワッカ湯の滝駐車場の滞在時間と待ち時間

時間帯	2013年7月13日				2013年7月14日			
	滞在時間		待ち時間		滞在時間		待ち時間	
	n	平均値(分)	n	平均値(分)	n	平均値(分)	n	平均値(分)
8時	12	41:20			14	30:21		
9時	14	23:56			35	33:17		
10時	17	34:07			45	30:48	33	07:20
11時	26	35:23			45	34:11	45	16:31
12時	25	31:48			45	33:32	43	14:17
13時	25	30:48	3	02:00	45	34:08	17	04:46
14時	40	31:38	15	01:24	50	30:17	33	04:51
15時	46	24:33	9	02:07	51	29:39	51	10:41
16時	21	32:23			24	24:28	7	05:00
17時	6	23:00			3	14:40		
総計	232	30:38	27	01:42	358	31:27	229	10:34

湯の滝滞留人数と混雑感

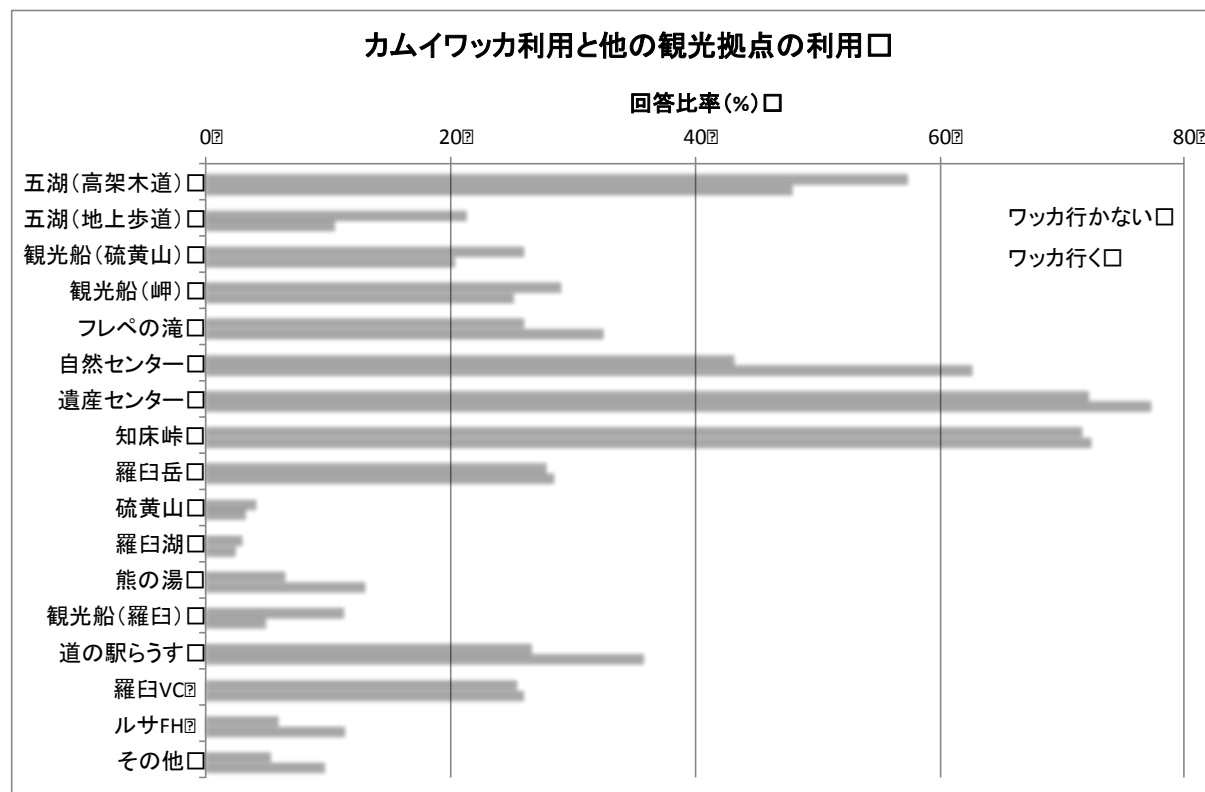
川の入り口と一の滝の下部で通過者数を5分ごと数えた。同時に、一の滝下部と上部にインターバルカメラを設置し、1分毎の滞留状況を撮影した。

13日に川に入ったのは355人、その内234人は一の滝の上部まで登った。14日に川に入ったのは647人、その内403人は一の滝の上部まで登った。5分ごとの滞留人数は、13日に川の中で最大29人、一の滝で15人、14日に川の中で最大35人、一の滝で23人であった。

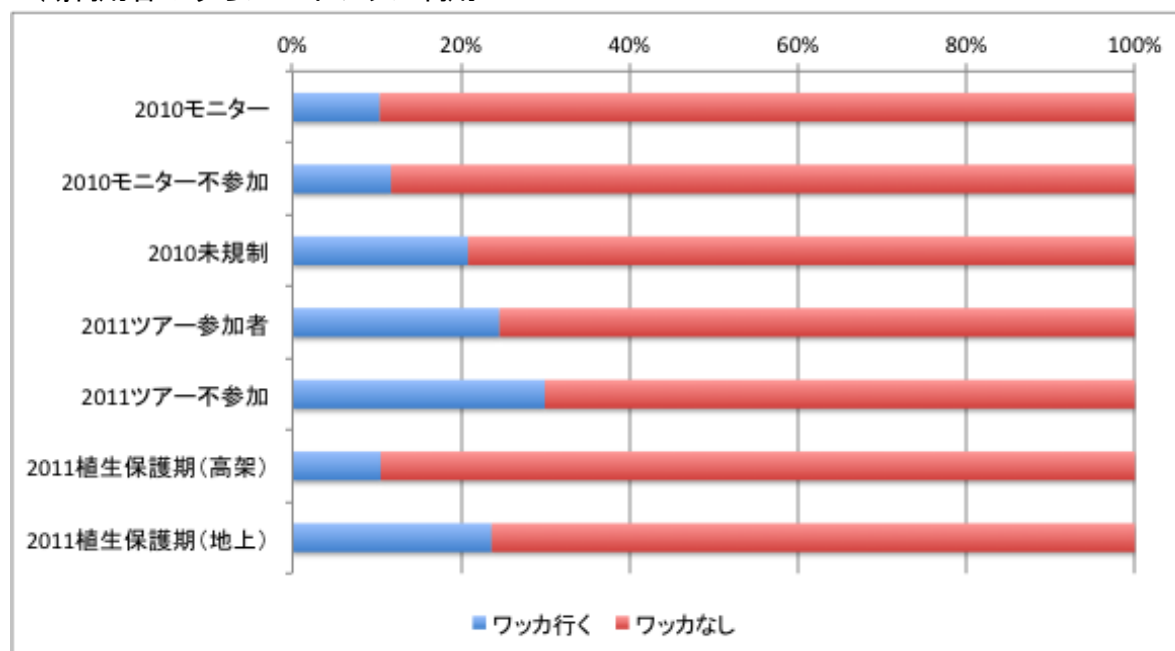


カムイワッカ湯の滝の利用者層

カムイワッカ湯の滝を訪れる利用者の特性をみるため、過去のアンケート調査の立ち寄り先の関連を分析した。2011年の7月と8月、自然センター、遺産センター、羅臼ビジターセンターで、687人中、292人から回答を得た。五湖の地上歩道利用者でカムイワッカの選択率が低く、自然センター、熊の湯、道の駅らうす利用者の選択率が高かった。2010年度2011年に五湖で行った意識調査では、ヒグマ活動期の不参加、植生保護期地上歩道利用者でカムイワッカの選択率が高かった。



五湖利用者のうちカムイワッカ利用



モニター写真による混雑感の評価（中間報告）

カムイワッカ湯の滝入り口付近と、一の滝下部における利用状況を、仮想的に表現した写真を提示し、許容できる限界の人数を回答させた。予備調査として、北大生約100名に実施し、2014年2月中に首都圏の約1000人を対象にしたWebアンケート調査を実施予定。

